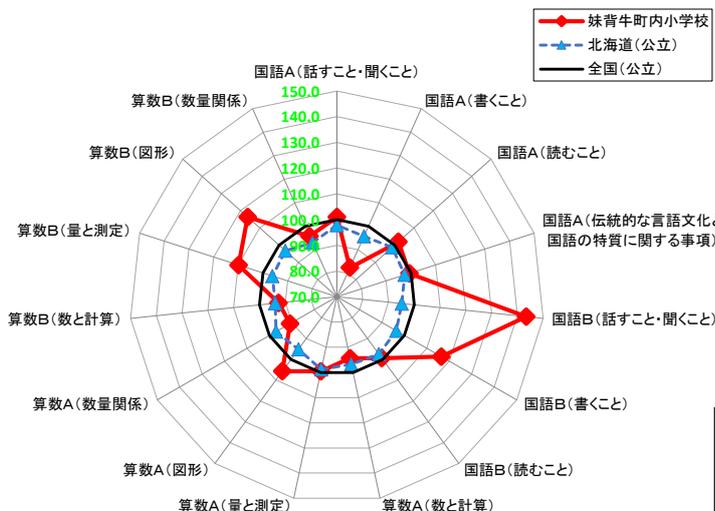


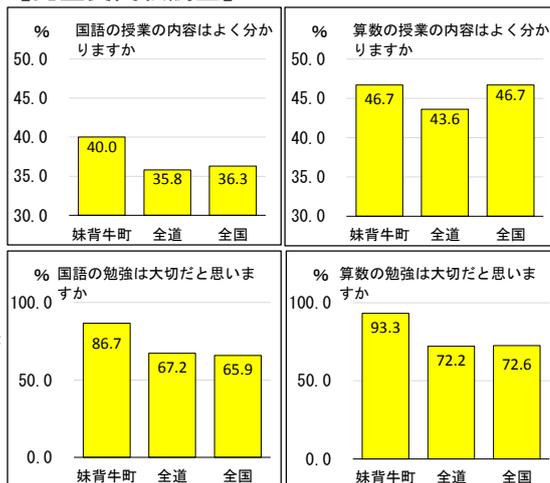
■妹背牛町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1、児童数:15名)

【教科全体の状況】

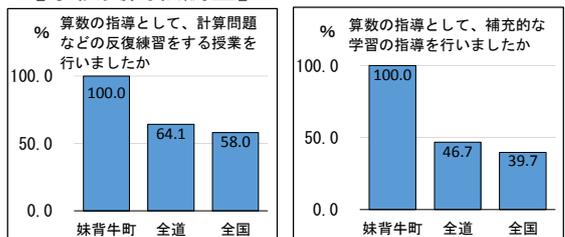
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



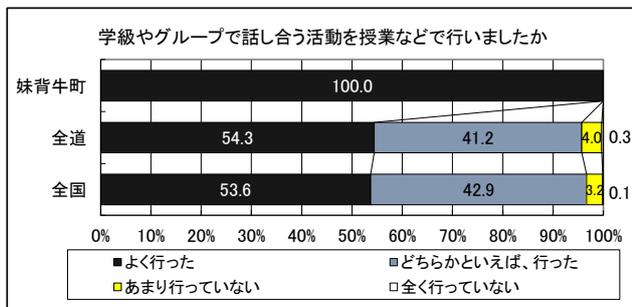
【児童質問紙調査】



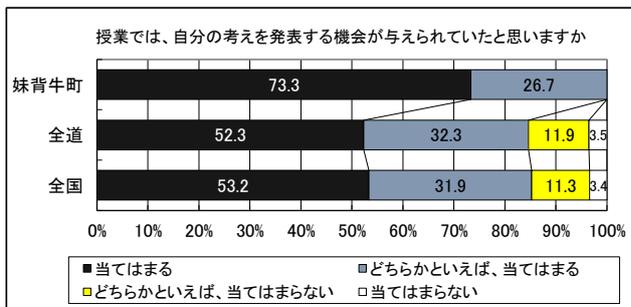
【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、国語Bでは「話すこと・聞くこと」、「書くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは「図形」、算数Bでは「量と測定」、「図形」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級やグループで話し合う活動を授業などでよく行っている。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の指導として、授業で計算問題などの反復練習を行ったり、補充的な学習の指導を行ったりした結果、児童は算数の勉強は大切で分かりやすいと思うようになり、算数Aの「図形」、算数Bの「量と測定」、「図形」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級やグループで話し合う活動を授業などでよく行っている。 	

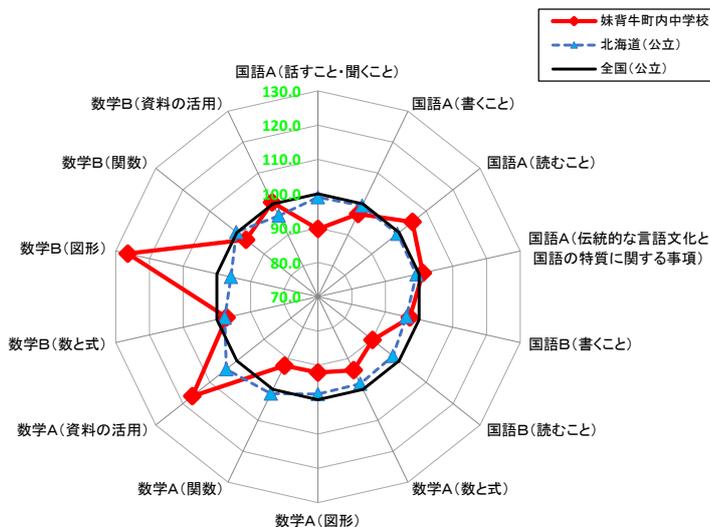
【妹背牛町の学力向上策】

- ◎ 国語科で育てた表現力を「汎用的学力」として、教科毎の「学習用語」の定着のために活用
- ◎ 全校で統一した計画的な朝学習などで、基礎・基本(漢字・四則計算等)、「書くこと」、また漢字の取り立て指導の充実
- ◎ TTや習熟度別学習でつまずきの見られる児童への指導の充実による学力の定着と底上げ
- ◎ 「総合的な学習の時間」における「郷土妹背牛」科の推進による、基礎的・汎用的能力の向上
- ◎ 中学校との連携による漢字検定及び町費による漢字検定・算数検定を全学年で実施
- ◎ 今後、3年生以上に必修科目となる英語教育を本年度より実施し、高学年において読み書きを導入した授業の実施

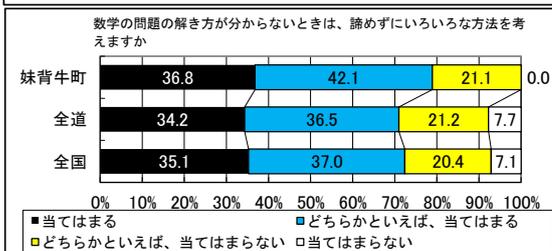
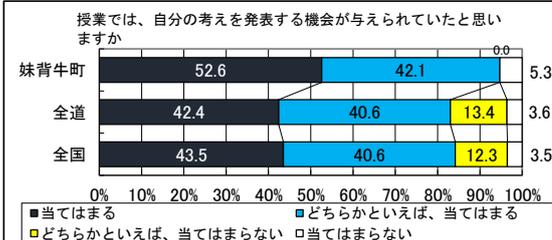
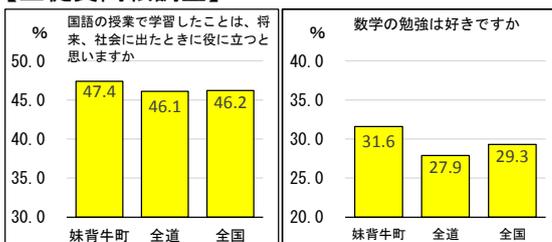
■妹背牛町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:20名)

【教科全体の状況】

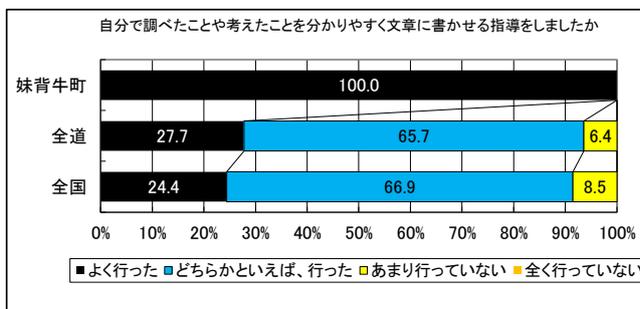
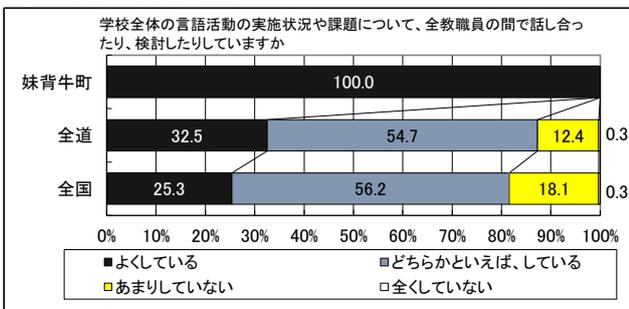
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは「資料の活用」、数学Bでは「図形」、「資料の活用」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりする取組をよく行った結果、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う生徒の割合が高くなり、国語Aの「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学Aの「資料の活用」、数学Bの「図形」、「資料の活用」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか」という質問に対して「当てはまる」と回答した生徒の割合が全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をよく行った結果、国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思ったり、数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えたりする生徒が全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりする取組をよく行っている。 	

【妹背牛町の学力向上策】

- ◎ 生徒が見通しをもって授業に臨めるよう、全教科におけるシラバス等の活用
- ◎ 調査結果等を活用して校内研修において授業改善に向けた授業形態の統一
- ◎ 学習習慣を定着させるため、家庭学習の継続的な提出と点検、指導
- ◎ 3年生中心に補充的な学習を中心とした放課後学習の実施
- ◎ 廊下に特設コーナーを設置し、チャレンジテストや朝自習、宿題でのアシストシートの生徒の主体的な活用
- ◎ 長期休業中を中心とした学習相談日の設定(自習教室として実施)
- ◎ 授業における学習支援員を活用した個別支援の充実